

経験したことのない出来事

桜が咲き、草木が芽生える季節になり、地域では楽しみにしていた運動会や子供たちの春祭りの準備を始めたところであった。

しかしながら、新型コロナウイルスの発生、感染拡大により、地域においても行動の自粛が要請され、様々な行事が取りやめになった。

今や世界中に蔓延し、2百万人を超える感染者数、死亡者は15万人に達する勢いであり、多くの人たちが、その対策に尽力している。

これは地球規模でのウイルスとの戦争のようなものかもしれない。かつて経験したことのない出来事である。

我々にはウイルスと戦う手段はないのか、どのように対応したらよいのか。

終息を願い、地域の行事やコミュニケーション活動復活のため、準備を着々と進めていこうと地域の役員としてひそかに思っている。

(A. O)



2/29 防災講座

パワーポイントで大事な項目をチェック!!



3/25 地域サロンにてお花見気分でお弁当を♪気分リフレッシュ♪



～ 会長より一言 ～

人間の真価を問いかける目に見えぬ新型コロナウイルスとの戦いの毎日、本当に大変です。1日も早くこの状態から抜け出し、快適な日々を取り戻すため、一人ひとりが頑張りましょう。

みどり議員も頑張っています。よろしくご支援ください。

このレポートが皆様に届く頃には、明るい見通しが見えますように。

直接戦ってくださる医療関係の皆様へ感謝して・・・

大西多美子



3/21 女性と防災の会

逃げ地図作成をする保育所関係のみなさん&メンバー



3/29 資源ゴミ収集活動

いつもご苦労様です



藤岡みどりの

ワクワク

レポート

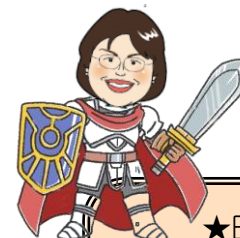
第23号

2020.5.10 発行



発行：藤岡みどりを推薦する会
代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131
ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>

『コロナショック、コロナ戦争に完全勝利を目指して・・・』



★昨年の12月末ごろ、中国の武漢で新型ウイルスによる肺炎患者が出て、インフルエンザのような症状でごく一部で死者も出ていたと聞きました。まるで対岸の火事のような感覚で聞いていた病気が、このような全世界を恐怖に落とし込むような感染拡大を起こすとは誰も想像していませんでした。未だ明確な治療薬もワクチンもできていないこの病気が、新型コロナウイルスという名前で、私たち人間に対してパンデミック爆弾を浴びせ、リーマンショック以上の経済的危機をもたらし、医療現場に崩壊の危機を呼び寄せている現実を突きつけています。

★3月5日に県内の愛南町で初めての感染者が出てから、その後、松山市内や松前町内でも確認されました。県内感染者はすでに47人、亡くなった方も3人となっています。

★4月に入って、小中学校の休校、飲食店への時短・休業要請など、全国規模での緊急事態宣言が出され、私たちの暮らしの中に自粛という形で行動規制をされるようになりました。

★全世界では4月23日現在、260万人以上の感染者、18万人を超える死者となっています。欧米先進諸国の惨憺たる状況を見ながら、一刻も早い収束につなげられるよう今しばらく私たちの我慢・自粛生活は続きますが、今まで家でできなかった事をこの際試してみるのもいいチャンスになるのではないのでしょうか・・・。

一人一人が対策を・・・

この感染拡大をストップさせるために、私たちができることは3密（密閉、密集、密接）に近づかないこと、ウイルスの侵入、感染を防ぐため手洗い、マスク、うがいの徹底で自分を守ると同時に、他人にもうつさない生活をする事が大切です。



編集後記

今年に入っての話題はコロナ一色。最初の発生時にこのような状態になる事を誰が予想したでしょう。今、私たちはこれまでの習慣や社会常識を見直すことを迫られています。この困難な時期を個々が自覚した行動で乗り越え、一日も早い終息を迎えるよう頑張りましょう。(K-I)



メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで

～みどりの一般質問より～



12月

Q. 地域づくりにつながる高齢者の介護予防事業とは

A. 平成26年度から町の全地区で独自の介護予防体操の講習、口腔ケア・認知症の予防を盛り込んだ介護予防教室を実施。

現在38のグループが受講者中心で稼働している。

軽度認知症とフレイル（虚弱）チェックは、早期発見、対応が大切。更に口腔機能チェックと口腔ケアを県歯科衛生士会の協力の下各地区で指導している。

(～0～) 保健師さんの積極的な地域への働きかけが介護予防に効果を上げている。



3月

Q. 公正な入札制度に向けて見直しは。検討の結果報告は、いつ頃に

A. 入札情報漏洩事件の発生前から庁内職員で構成する入札・契約制度改善委員会を立ち上げ公平、公正な入札制度に向けて検討してきた。今回の事件後、県内自治体の入札制度を調査、内容を参考に当町の制度の問題点につき協議し、地元業者の団体からの意見を聞いている。予定価格の事前、事後公表制のメリット、デメリットがある。検討の結果報告は令和元年度末に。

★更に検討の段階で、法律家や専門家の意見など必要ではと問うたが、その時点では不要との回答があった。



◎3月議会後の定例全員協議会にて、理事者側から報告があった。

- ① 松前町職員倫理条例を制定し、コンプライアンス委員会の設置。(弁護士、大学教授など専門家の出席のもと)
- ② 訓令を発し、予定価格は従来通り事後公表。(事前公表は談合の温床になりやすく、業者育成の面からも問題があるため)

最近の活動を振り返って ～課題を見つけ さらに次の施策に～

★やりました！（分野別）議会報告＆意見交換会 2/20

～文教厚生常任委員会が主体となって～

この常任委員会が所管している分野別にグループを作り、約8～10名のメンバーがそれぞれのテーマについて、現状のいい点、改善点、今後について約1時間ワイワイ議論し、最後にキーワードと解決策の発表などを行いました。(ワークショップ形式で)

それらを議会としてまとめ広報（議会だより3月号）で報告しました。今後ここで出た内容を議会の中でも議論し、政策提言したり、議会人として一般質問で直接行政に対し問題定義と方向性を質していき、町民の負託に応えていきたいと思えます。

◎分野は、以下の5つのテーマに分けました。

- ① 子育て支援
- ② 学校教育
- ③ 介護支援
- ④ 文化観光
- ⑤ 環境問題

全体で60人近くの人が熱いトークを。



当たり前が町の魅力と気付いていない。これから、それをどう発信し、発展させる？



～ 事後のアンケートより ～

- ・ワークショップの時間配分は
→ちょうど良かった 75%
- ・テーマ設定について
①内容は分かりやすい 80%
②テーマは良かった 90%



先生方からの現場の声は実に迫りあり！

◎反省点

- ・議員の意見やどんな問題意識を持って活動しているのか見えなかった
…との声が・・・

防災関連

★防災イベントに参加して 2/11

午前10時から伊予市のウエルピアで防災イベント「まなぼうさい」に参加し、日本防災士会愛媛県支部の一員として子どもの命カードの普及や、新聞紙で作るスリッパ、小物入れの説明、作り方実践などを披露。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、多くの家族連れや地域の方々から立寄って下さって午後2時までしっかり普及活動をさせていただきました。

松前町以外に松山市、伊予市、砥部町、東温市などが協力していろいろな防災関連の団体、ボランティアグループ、民間会社などが出店していて、私たちにとても最新の防災情報を吸収できるいい機会となりました。

子どもたちは目を輝かせてぬりえをしたり、話を聞いてくれました



★文教厚生常任委員会メンバーで研修 11/26～27

場所 ①長崎県佐々町

- ・包括総合介護支援活動の先進事例

②長崎県川棚町

- ・学校現場に統合支援システムを導入した事例

両町とも松前町より少ない人口、広い面積規模だったが効率のよい運営と先進的活動をされており、とても参考になった。



松前町より少ない人口の町でもシステムの充実がびっくり。知ることは大切です。

★共立衛生組合（塩見園）で視察に 2/6～7

場所 ①奈良県五條市クリーンオアシス

- ・資源循環型社会に向けて役立つシステム導入を行なった汚泥再生処理センターを視察

②大阪市舞洲スラッジセンター

- ・下水汚泥の有効活用ができるまで加工する処理施設の視察（外観が奇抜なデザインでびっくり）

